

## 令和5年度第1回理事会議事録

日時：令和5年5月11日（木）9時30分～11時20分

場所：鹿児島県看護研修会館 2階研修室

### I 理事会の構成

理事：17名 監事：2名 合計19名

### II 理事の出欠確認

出席理事 17名

会長 八田冷子（代表理事）

副会長 田畠知子

副会長 渡邊和代

専務理事 今村 恵

常任理事 林 恵子

職能理事 小田房子、渦山勝美、谷川智子、柳田千草

准看護師理事 德永博子

地区理事 西野富士子、牧枝さとみ、久保田祥子、新井田香、寺師真理子、  
近間眞由美、正岡ゆかり

欠席理事 0名

### III 監事の出欠確認

出席監事 2名

永山広子、岩重洋一

### IV 会長挨拶（略）

### V 定足数の確認

定款第40条に基づく議決に加わることができる理事16名（会長=議長は除く）のうち16名の出席は、議決に加わることができる理事16名の過半数8名以上であることから本会は有効に成立することを確認した。

以後、会長（定款第39条）が本理事会の議長となり、以下のとおり進行した。

### VI 協議事項

#### 1 基本方針

##### 1) 令和5年度常任委員会・特別委員会 諮問事項（案）について

専務理事は、次のとおり説明した。

理事会の諮問事項として、委員会の分類の仕方を整理した上で、常任委員会の教育委員会では会員のニーズや看護を取り巻く情勢に対応した研修の企画・実施、職場環境改善委員会では、看護職の確保・定着と働きやすい環境づくりの推進、広報委員会では、広報誌「看護かごしま」の企画編集、医療・看護安全対策検討委員会

では看護職賠償責任保険制度の普及、災害・感染症医療業務検討委員会では、改正医療法等に基づく災害支援ナースの企画・実施・評価などについて説明した。

特別委員会の認定看護管理者制度教育運営委員会では、ファースト、セカンドレベルの受講・終了等の検討、評価、学会委員会では応募演題の質の向上として、県内施設の研究支援体制の実態調査、看護の日・週間行事実行委員会では令和6年度の「看護の日・週間事業」に関するアイディア等の検討、性に関する指導推進委員会では多職種との交流・情報共有などについて説明を行った。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

## 2) 令和6年度事業に係る県知事への予算等要望書について

会長は、次のとおり説明した。

例年8月頃に要望しているが、6月頃から始まる県の予算編成に反映させるため早めに要望をあげたい。については、今回項目について整理したのでこれでいいかご協議いただき、皆様の了解をいただいた上で、内容等については事務局の方で整理させていただきたい。

項目としては「看護職員の確保・定着支援」では、1ナースセンターの拡充と強化、2看護人材確保のための看護の魅力発信、3子育て中の看護職が離職せず働くための支援強化、4看護職の処遇改善に向けた取り組み推進(新規)、その他、「健康危機管理体制の整備」、「医療的ケア児等の支援体制の構築」、「訪問看護提供体制の強化」、「看護の質向上」である。

このことについては、出席理事全員の賛成があり承認された。

## 2 事業推進に関する事項

常任理事は、次のとおり説明した。

### 1) 小児訪問看護師育成研修事業について

昨年度に引き続き、県の委託事業として実施することとしたい。座学・実技研修を6月17日と7月1日、実地研修を11月頃に予定している。

専務理事は次のように説明した。

### 2) 令和5年度訪問看護供給体制総合支援事業

県から地域医療介護総合確保基金(介護分)として昨年度までは訪問看護供給体制確保推進事業として受託していたが、令和5年度からは訪問看護供給体制総合支援事業として実施することとしたい。事業展開においては、姶良・伊佐地区での意見交換会などの協力をお願いしたい。

上記2項目については、出席理事全員の賛成があり承認された。

### 3 管理的事項

#### 1) 令和4年度決算報告及び監査報告について

会長は、事務局長が説明することを出席理事に承認を得た後、事務局長は次とおり説明した。

#### 1) 令和4年度決算報告及び監査報告について

令和4年度の決算の概要について説明した。(1)財政状態については、貸借対照表に基づき、資産の部の流動資産は254,404千円、固定資産は552,409千円となっている。負債・正味財産の部では、流動負債は95,292千円、固定負債18,609千円で、負債合計は113,901千円となり、一般正味財産は692,912千円である。以上から資産の部と、負債・正味財産の部の合計ともに806,813千円となり、前年度と比較致すると41,622千円の増である。科目別増減の主なものは、内訳に記載してあるとおりで、詳しい内容は、3ページから6ページに記載してあるとおりである。

(2)は、令和4年度の全ての収益(収入)及び費用(支出)を表した、正味財産増減計算書に基づくもので、経常収益は、277,659千円で、前年度と比較致すると11,758千円の増となっている。経常費用は、242,135千円となり、前年度と比較致すると20,125千円の増である。

詳しい内容は7ページから11ページに記載してあるとおりである。

(3)の研修会館の建替えに向けた資金の積み立状况は、令和4年度は32,327千円の増加と視聴覚室空調整備で11,893千円の取崩しを行ったため、積立額は410,760千円である。

(4)の公益認定基準のうちの財務三基準について、①の公益目的事業の収支相償は、収益が費用より18,440千円超過したので、その超過額は研修会館建設改良積立資産に積み立てることで基準を満たした。②の公益目的事業比率は50%以上、③の遊休財産(具体定な使途の定まっていない財産)も保有制限内で、ともに基準を全て満たしている状況である。

その他、予算補正や公益目的事業会計の細区分ごとの収支、また、資金の収支状況等について説明した。

会長は、監査報告を監事に求めた。

監事から、本協会の令和4年度の事業運営、財務の執行状況等については適正に執行されているとの監査報告があった。

このことについて、出席理事全員の賛成があり承認された。

## 2) 3階大研修室の空調機の工事について

会長は、事務局長が説明することを出席理事に承認を得た後、事務局長は次のとおり説明した。

全館空調システム1号機の基盤の故障に伴う今回の空調機設備改修工事については、3社から見積もりを取り内容を精査の上契約した旨報告したほか、それに関連する工事監理業務などについて、発注業者と契約額、工事内容について説明した。

また、実施に当たり、前回同様、会館建設改良積立試算の取崩で対応する旨説明した。

のことについて、出席理事全員の賛成があり承認された。

## 3) 令和5年度鹿児島県看護協会通常総会及び四職能委員会の日程と役割分担について

専務理事は、次のとおり説明した。

令和5年度の通常総会等の日程と役割分担について説明し、今回の通常総会は自治会館で行うため、施設からの協力員をお願いしたいとの説明があった。

のことに関しては、出席理事全員の賛成があり承認された。

## 4 会員支援について

渡邊副会長は次のとおり説明した。

本県の職種別会員数の推移については、どの地区でも准看護師の減少が顕著である。会員減の理由は若い世代や新規入会者数の減によると言われているが、今後、就業者数に占める看護職の割合が減少しているのか、就業者自体が減少してかなどについてさらに分析していくことで、会員確保について理事の皆さんと一緒に考えていきたい。

## VII 報告事項

### 1 事業推進に関する事項

- 1) 教育事業について
- 2) 看護職員就業相談事業について
- 3) 災害支援ナースの登録及び研修に関する変更について
- 4) 医療的ケア児支援センターの応募結果について
- 5) 看護の日・週間事業について

### 2 管理的事項

- 1) 職員の体制について
- 2) 理事会の議事録について

3 会員支援関係

1) 令和5年度の会員加入状況について

4 その他

1) 職能委員会報告（書面報告）

2) 地区報告（書面報告）

3) 委員会報告（書面報告）

4) 他団体会議報告（書面報告）

以上、議長は協議事項が全てを終了した旨を告げ、11時20分に閉会した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、議事録を作成し、次のとおり署名する。

令和5年5月11日

公益社団法人 鹿児島県看護協会

代表理事（会長） 八田 冷子 

監 事 永山 元子 

監 事 宮重洋一 

